

平成31年3月6日

全国農業協同組合連合会（JA全農）

「プラスチック資源循環アクション宣言」

JA全農は「地球の環境保全に積極的に取り組みます」を経営理念に掲げ、これまで農業用フィルムや化学肥料等の資材について適正使用、回収、流出防止等の環境面に配慮しながら、技術普及に取り組んできました。

昨今のプラスチックに関する情勢を踏まえて、作物の品質、生産性向上のためにハウス栽培やマルチなどに使用される農業用フィルム等の被覆資材、施肥回数の削減や作物の肥料効率の向上のためにプラスチック等により化学肥料をコーティングした被覆肥料について、指導機関、関係団体、関係メーカー等と連携しながら、以下の取り組みを強化していきます。

1. 農業用フィルム等被覆資材の適正処理

- (1) 業界、関係機関と連携し、使用済プラスチックの適正な回収、再生の促進、排出量抑制の推進に取り組んでいます。農ビは建材などに、農PO・農ポリはセメント工場などの助燃剤等として再利用する方法をすすめています。
- (2) 排出量抑制のため、「中長期展張フィルム」や「生分解性マルチ」の普及・導入促進を図ります。

2. 被覆肥料の殻に関する対応強化

- (1) 水田系外への被覆肥料の殻の流出防止に関する注意表記を肥料袋へ記載するなど様々な媒体を活用して農家への啓発活動を強化します。
- (2) 関係メーカーによる被覆肥料の殻の環境中の分解性をさらに向上する技術や、被覆樹脂の使用量をさらに削減する技術の開発を支援し、普及を図ります。
- (3) 化学合成緩効性肥料、流し込み施肥など他の省力技術の普及拡大を図ります。

以 上

お問合せ先；肥料農薬部 技術対策課（TEL 03-6271-8291）